

【金融業界初 2 年連続入賞】企業広告「dear my family2015」篇が 2014 年度 第 52 回ギャラクシー賞入賞！

住友生命保険相互会社（社長 橋本雅博）は、企業広告「dear my family2015」篇が第 52 回ギャラクシー賞 CM 部門選奨を 2 年連続で受賞いたしましたことのお知らせいたします。2 年連続で入賞作品に選ばれるのは、金融業界では初めてのことです。



■ギャラクシー賞について

ギャラクシー賞は、1963 年に放送批評懇談会によって創設され、文化に貢献した優秀な番組・個人・団体に贈られる国内有数の賞で、年に一度「テレビ」「ラジオ」「CM」「報道活動」の 4 部門で審査されます。審査は放送批評懇談会会員から選ばれた選奨事業委員会が担当します。賞の決定を第三者に委託する顕彰制度が多いなか、ギャラクシー賞は、放送批評委員会の会員が一貫して審査にあたり、賞の独立性を維持し続け、CM 部門は 1 年間に放送された作品から大賞 1 本、優秀賞 3 本、選奨 9 本が選ばれます。

■「dear my family2015」篇に込めた想い

「大切なご家族を失うこと」。生命保険事業の本質に関わることでありながら、これまで生命保険の CM で取り上げられることがほとんどなかったテーマに正面から向きあいました。

生命保険にご家族を失った悲しみを癒す力はありません。でも遺されたご家族の生活を守り、支えになることはできます。

実はこの「生命保険の意義」を表す一つの言葉が住友生命に伝わっています。昭和 41 年、当時の社長（故新井正明）が新聞記者に「生命保険の意義を一言で表すと？」と問われて答えた「悲しみと共に貧しさが訪れないように」という言葉です。以来、この言葉は生命保険の意義・使命を表す言葉として住友生命の社内に脈々と受け継がれています。

昨年、生命保険のこの「使命」を、現代的な表現にあらためた「家族の未来に、変わらない毎日があるために。」というメッセージに託して、企業 CM「dear my family」を制作し、今般、この第 2 弾として「dear my family 2015」を制作しております。

今回の受賞を通じて、あらためてお客さまがご家族への想いを深め、それを支える保険の大切さに気づいていただくきっかけになればと願っております。

<放送批評懇談会からのコメント> 2015.7 GALAC より抜粋

日常風景を淡々と描いたこの作品は、CMらしくない CM として目を惹きます。母と娘と弟の 3 人が特別な朝を迎え、慌しく身支度をしている……。そして出かける直前に姉が忘れ物に気づく。それは父の遺影でした。母が戻り写真を持つ。さり気なく入る音楽。ここで作品は一瞬にしてドラマになります。前作より更に完成度を高め、生命保険の CM として新しい形を作り上げました。



『dear my family2015』篇 (60 秒、30 秒) ※当社公式 HP・YouTube 公式チャンネルでご覧いただけます。

※平成 27 年 3 月 31 日付ニュースリリース「新 TV CM『dear my family2015』篇 完成」をご覧ください。